

〈目的〉

観光資源に恵まれた雪の都市、札幌。札幌の経済と観光にはどのような関係があるのか、札幌の経済に観光はどのような影響を与えているのか、札幌の観光をどうしていきべきかを提案する。

〈研究方法〉

市の報告書から2011年～2019年の市内総生産と観光消費額の相関係数を求める。

〈結果〉

	相関係数	JNTO (件)	ICCA (件)	大企業本社数 (社)	製造品出荷額 (億円)
札幌市	0.909060871	102	24	181	4000
仙台市	0.903079807	136	17	88	4500
千葉市	0.345575341	57	*5	77	18000
横浜市	0.961760798	277	26	456	38000
川崎市	-0.245301661	12	*5	189	55000
浜松市	0.420587279	13	*5	56	27000
名古屋市	0.964789559	252	18	291	69000
大阪市	0.833643871	204	28	551	45000

*黄色:相関が強い 青:相関が弱い 白:マイナスの相関 の都市

*国際会議開催件数について 左:JNTO 右:ICCA という団体の規定のものである

〈分析〉

相関関係が強い都市は国際会議開催件数、大企業本社数ともに多い。相関関係が弱い都市は国際会議開催件数、大企業本社数ともに少ない。

〈考察〉

これらの結果からGDPに関係しているのはビジネス客なのではないかと考えた。そのためビジネス客へ向けた商品、サービスを充実させていくべきと考えた。

札幌の課題:冬の交通が不便、BtoB産業に弱い(製造品出荷額より)、大型施設の不足

〈提案〉

- ・大型施設(MAIC施設)の建設(インテックス大阪など)
- ・交通網の強化
- ・ラピダスに関連したIT企業の誘致

〈参考文献〉

観光経済新聞の記事

「八年連続で過去最高国内での2019国際会議開催件数」

各市の経済報告書2011～2019

(企業経営動向調査書、札幌市民経済計算結果の概要など)